



DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

個人投資家さま向け 会社説明会資料

2026年9月11日

代表取締役社長 殖栗道郎

東京証券取引所
プライム市場

証券コード **7327**

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

目次

	第四北越FGの概要	・・・ P. 2
	2026年3月期決算の概要	・・・ P. 9
	第三次中期経営計画	・・・ P.19
	最近の主な取り組み	・・・ P.24
	群馬銀行との経営統合に向けて	・・・ P.39
	Appendix	・・・ P.49

第四北越FGの概要

第四北越FGの概要

- 当社グループは、銀行や証券に加え人材紹介や地域商社などを有する新潟県に本店を置く金融・情報サービスグループです。

【プロフィール】
(2026年3月31日現在)



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| ■ 商号 | 株式会社 第四北越フィナンシャルグループ |
| ■ 本店所在地 | 新潟県新潟市中央区東堀前通七番町1071番地1 |
| ■ 代表者 | 代表取締役社長 殖栗 道郎 |
| ■ 設立 | 2018年10月1日 |
| ■ 資本金 | 300億円 |
| ■ 連結総資産 | 10兆8,402億円 |
| ■ 上場証券取引所 | 東京証券取引所 プライム市場（証券コード：7327） |
| ■ 格付情報 | (株)日本格付研究所（JCR）：AA－（2026年8月公表） |



▲「統合報告書2026」

金融分野

銀行

第四北越銀行

リース

北越リース

信用保証

北越信用保証

証券

第四北越証券

リース

第四北越リース

ファンド運営

第四北越キャピタルパートナーズ

カード

第四北越ジェーシービーカード
第四ディーシーカード / 北越カード

信用保証

第四北越信用保証

非金融分野

システム

DH-ITS 第四北越ITソリューションズ

人材紹介

第四北越キャリアブリッジ

コンサルティング・調査

第四北越リサーチ&コンサルティング

地域商社

ブリッジにいがた

地域デザイン

REGIONAL SHIFT
(2026年6月18日設立)

New!

第四北越FGの経営理念・目指す姿

お客さまへ

経営資源の活用やコンサルティング機能の強化による商品・サービスの拡充、利便性の向上

お客さま

地域社会へ

当社グループのノウハウやネットワークの活用・サステナビリティ経営の実践等による地域社会の発展への永続的な貢献

地域社会

第四北越フィナンシャルグループ 経営理念

私たちは

信頼される金融グループとして
みなさまの期待に応えるサービスを提供し
地域社会の発展に貢献し続けます
変化に果敢に挑戦し
新たな価値を創造します

…………… 行動の規範（プリンシプル）

…………… 使命（ミッション）

…………… あるべき姿・方向性（ビジョン）

当社グループの企業価値の向上

株主の皆さま

株主の皆さまへ

従業員

挑戦・活躍する場を広げることに
よる一人ひとりの働きがいの向上

従業員へ

第四北越フィナンシャルグループ 目指す姿

金融・情報仲介機能の発揮による新たな価値の創造と、経営の効率化を進め、地域の発展に貢献し続けることで圧倒的に支持される金融・情報サービスグループ

新潟県の概要 – 主要データ等–

総面積

12,583.67km² 全国**5**位

総人口

207万人 全国**15**位

県内総生産（名目）

9兆429億円 全国**15**位

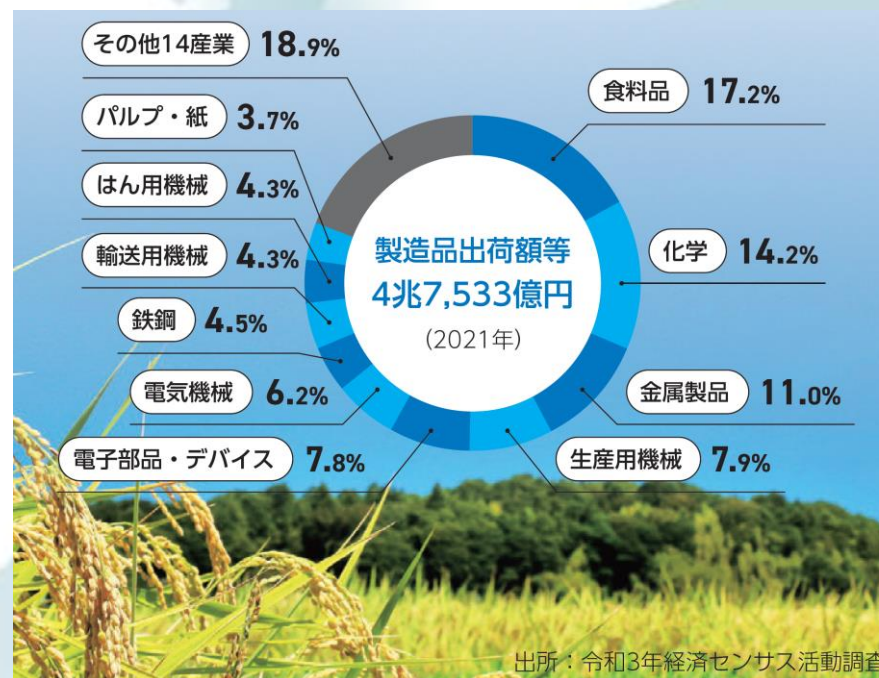
産業・経済 等

新潟県が 全国**1**位の主な分野

- ✓ 米の産出額 1,255億円
- ✓ 米菓の出荷額 1,797億円
- ✓ 石油ストーブの出荷額 462億円
- ✓ 水産練製品の出荷額 345億円
- ✓ 切餅・包装餅の出荷額 284億円
- ✓ 金属洋食器の出荷額 132億円
- ✓ えだまめ作付面積 1,400ha
- ✓ 球根類収穫面積 74ha
- ✓ 原油の生産量 259.028kL
- ✓ 天然ガスの生産量 14億m³

etc.

新潟県の産業



県庁所在地 新潟市

本州日本海側 **最大都市**
(唯一の政令指定都市)

新潟港

本州日本海側
最大の物流拠点
(明治元年に開港した歴史ある国際貿易港)

交通網の優位性

5方向に伸びる高速道路
(関越・北陸・上信越・磐越・日本海東北)

**新幹線は
上越・北陸の2路線**

出典：
新潟県ホームページ
「新潟県的主要指標」「新潟県あれこれ全国ベスト5」
新潟市ホームページ
「新潟港の概要、港湾統計と港湾計画」

第四北越FGの沿革

- 第四北越FGの前身である「第四銀行」「北越銀行」は、ともに新潟県内に本店を置く地方銀行として、140有余年にわたって互いに切磋琢磨し、地域経済へ貢献してきました。



北越銀行

1878年創立

**戊辰戦争の復興に向けて
長岡市に「第六十九国立銀行」
創立**

県内シェア No.2



第四銀行

1873年創立

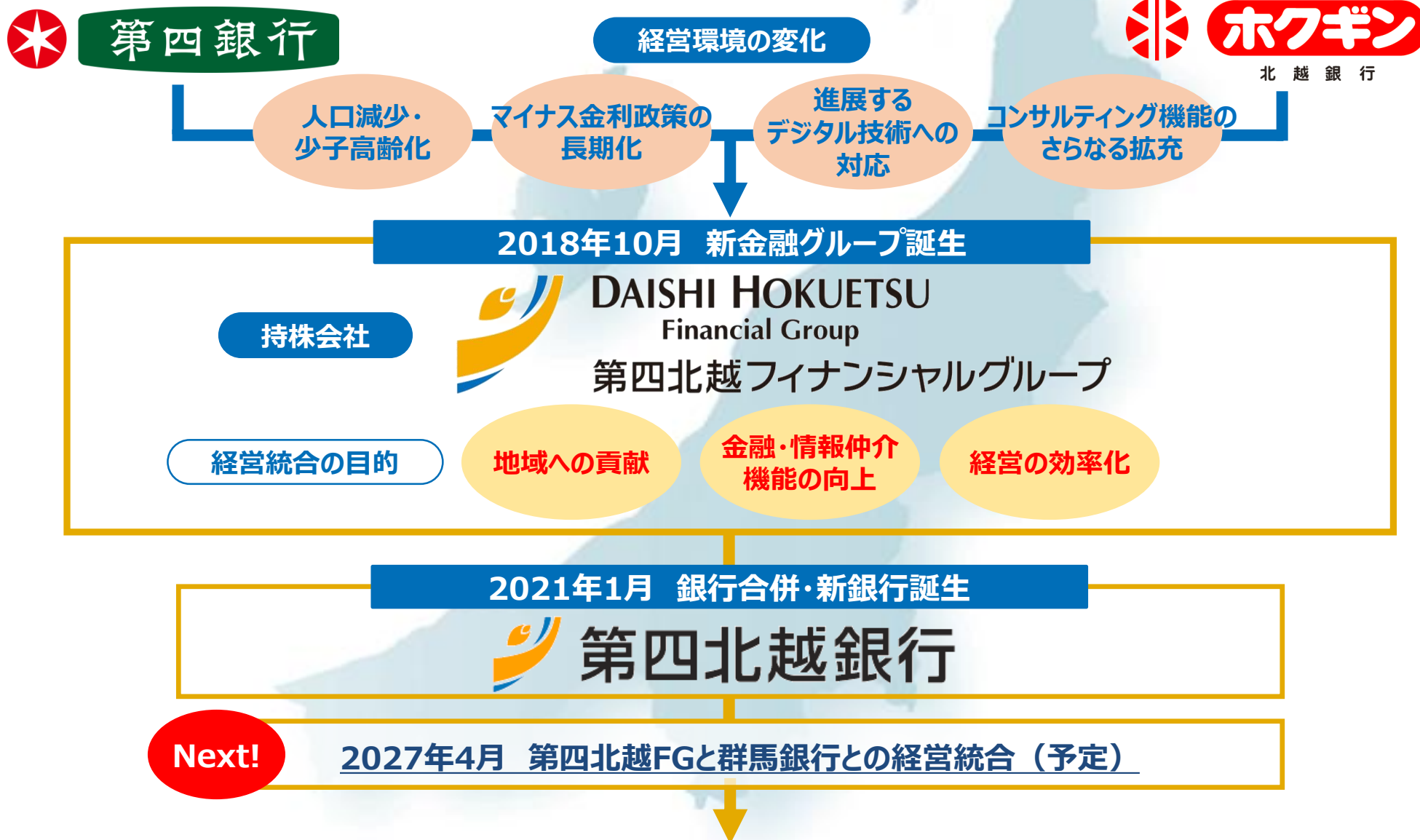
**日本で3番目の銀行として
新潟市に「第四国立銀行」創立**

県内シェア No.1



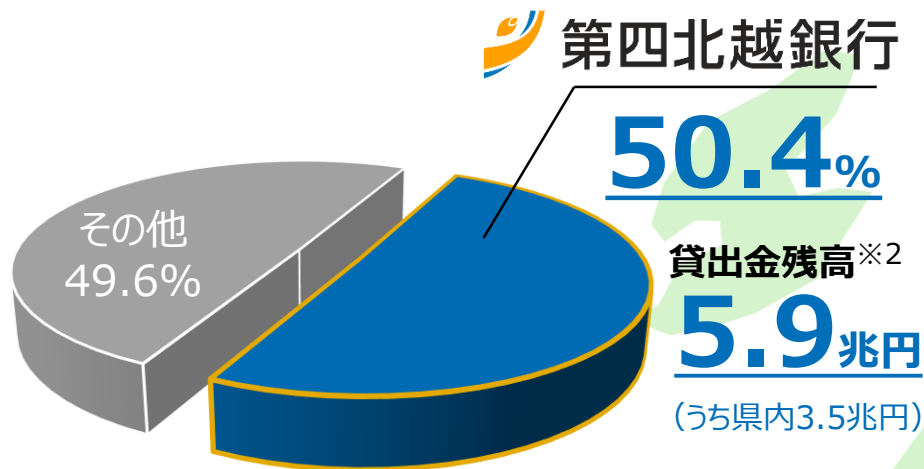
第四北越FGの沿革

■ 2018年10月、新潟県内に営業地盤を置く第四銀行と北越銀行の経営統合により誕生しました。

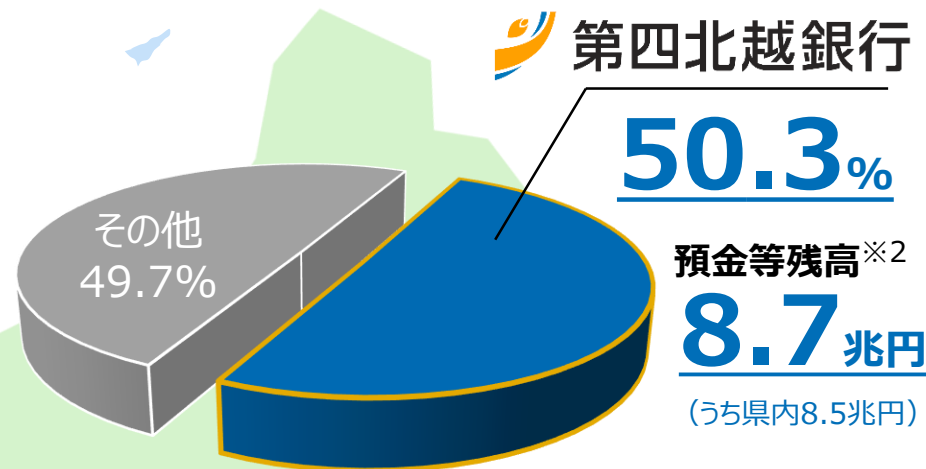


新潟県内における取引シェア

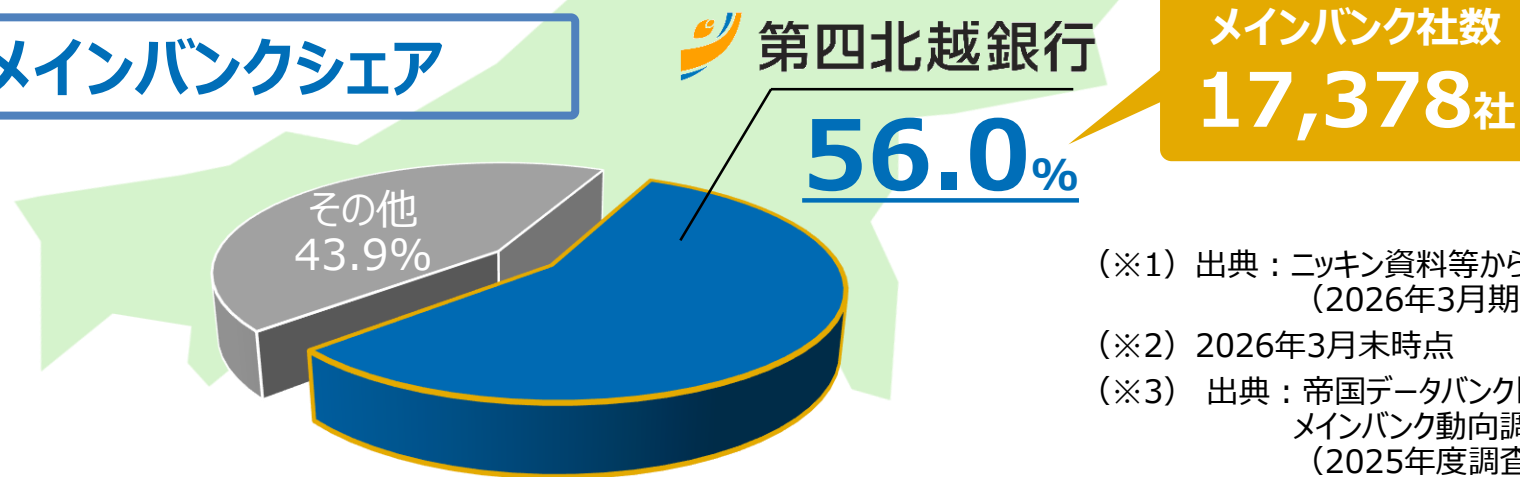
貸出金※1



預金等 (除くゆうちょ銀行)※1



メインバンクシェア



(※1) 出典：ニッキン資料等から当社にて算出
(2026年3月期)

(※2) 2026年3月末時点

(※3) 出典：帝国データバンク「新潟県内企業
メインバンク動向調査」
(2025年度調査)

2026年3月期決算の概要

FG連結

(億円)

421

360

330

当初
業績予想
(2025/5
公表)上方
修正予想
(2025/9
公表)

前年比

+ 127億円
(+ 43.4%)2025年5月に公表した
当初業績
予想比+ 91億円
(+ 27.5%)2025年9月に公表した
上方修正
予想比+ 61億円
(+ 16.9%)

2025年3月期

2026年3月期

部門別 当期純利益の状況

2026年3月期

銀行単体 (億円)

385

前年比

+ 133億円
(+ 52.7%)2025年5月に公表した
当初業績
予想比+ 95億円
(+ 32.9%)2025年9月に公表した
上方修正
予想比+ 56億円
(+ 17.2%)

252

290

当初
業績予想
(2025/5
公表)

329

上方
修正予想
(2025/9
公表)

2025年3月期

2026年3月期

貸出金・預金等残高（未残）

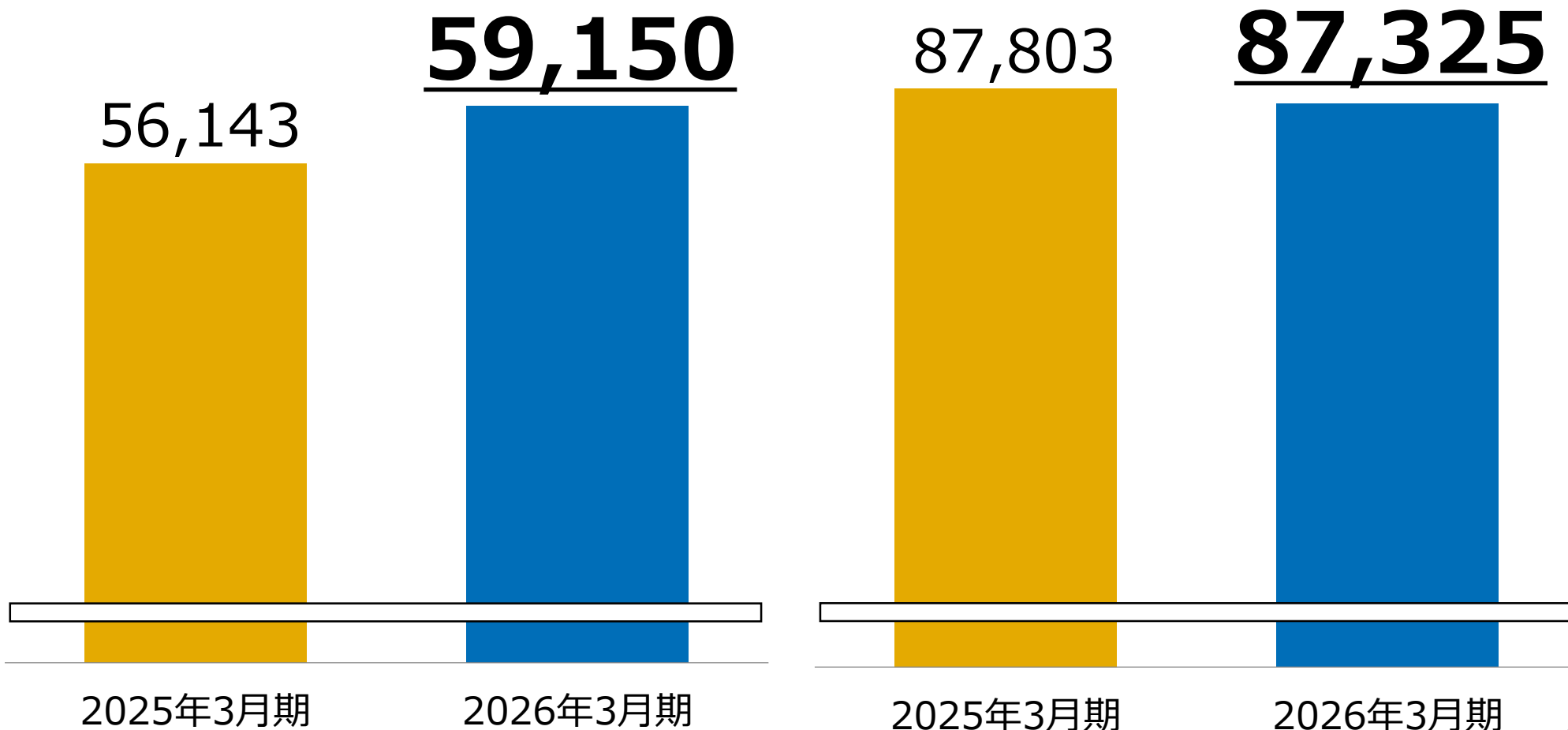
2026年3月期

銀行単体

（億円）

貸出金

預金等



2027年3月期 業績予想

上方修正

※2026年7月31日公表



(第三次中期経営計画最終年度)

2027年3月期のFG連結当期純利益を**530**億円へ上方修正

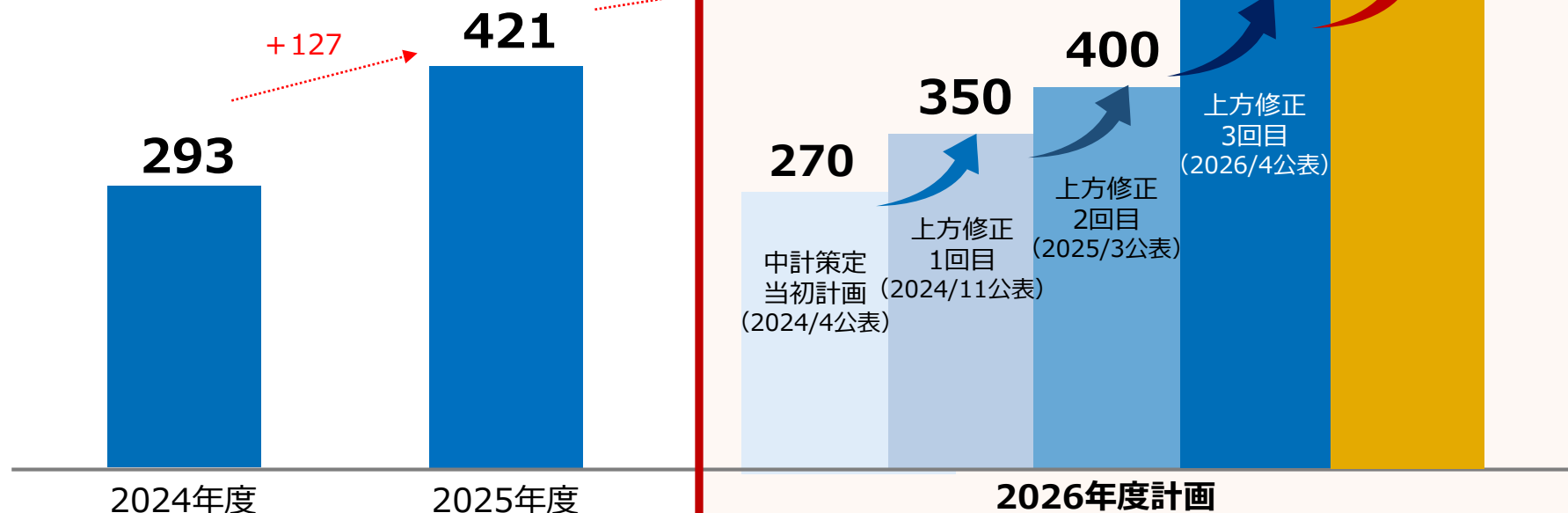
－国内政策金利引上げによる資金利益の増加を織り込む－

第三次中期経営計画 (2024年度～2026年度)

連結当期純利益※1

(億円)

※1 親会社株主に帰属する当期純利益



FG連結四半期純利益 (億円)

176

127

2025年6月期

2026年6月期

前年同期比

**+48億円
(+38.3%)**

**通期業績予想※
に対する進捗率**

+33.3%

※ 2026年7月公表の業績予想530億円

株主還元方針

第四北越FG 株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

具体的には、**1株当たり配当金は原則として累進的とし、配当性向は40%程度とします。**
自己株式の取得は業績や市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に実施します。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、早期に10%以上を達成のうえ、さらに高い水準を目指します。

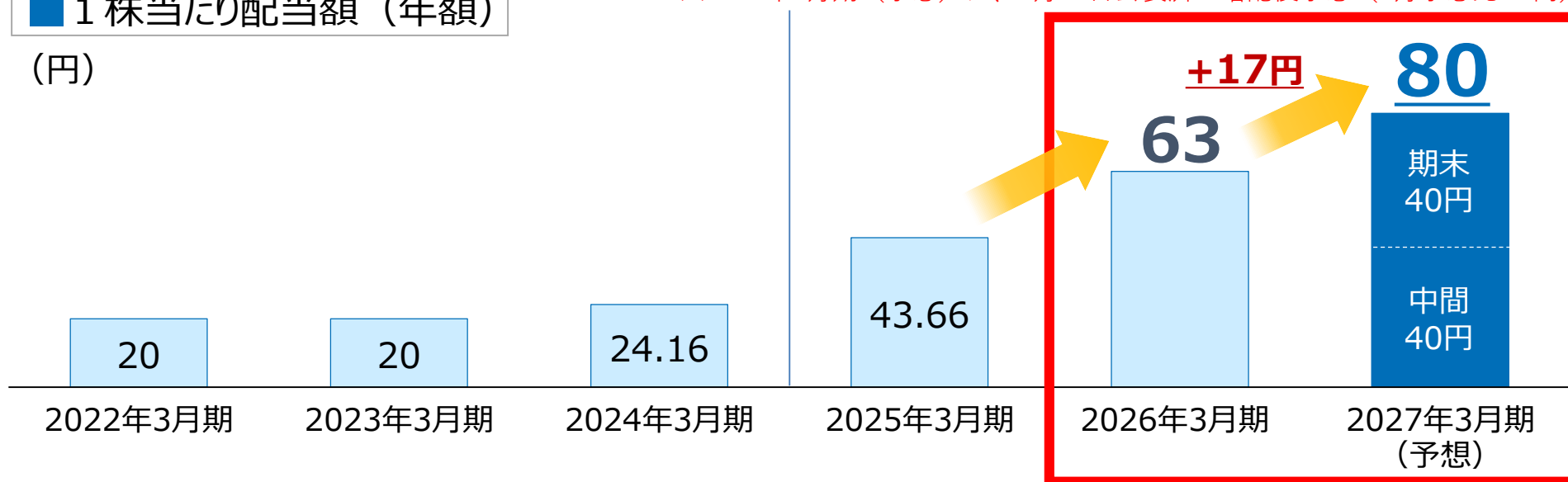
第二次中期経営計画

第三次中期経営計画

■ 1株当たり配当額（年額）

（円）

※2027年3月期（予想）は、7月31日公表済の増配後予想（5月予想比+4円）



株主優待制度

保有株式数と優待内容

対象の 株主さま

毎年3月31日を基準日とし、当社株式を継続して1年以上保有（毎年3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に同一株主番号で連続して3回以上記録）する株主さま

300株以上
600株未満

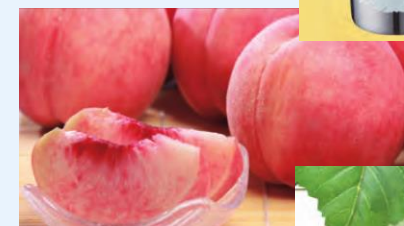
**1,000円相当の
新潟県内産品**

600株以上
6,000株未満

**2,500円相当の
カタログギフト**

6,000株以上

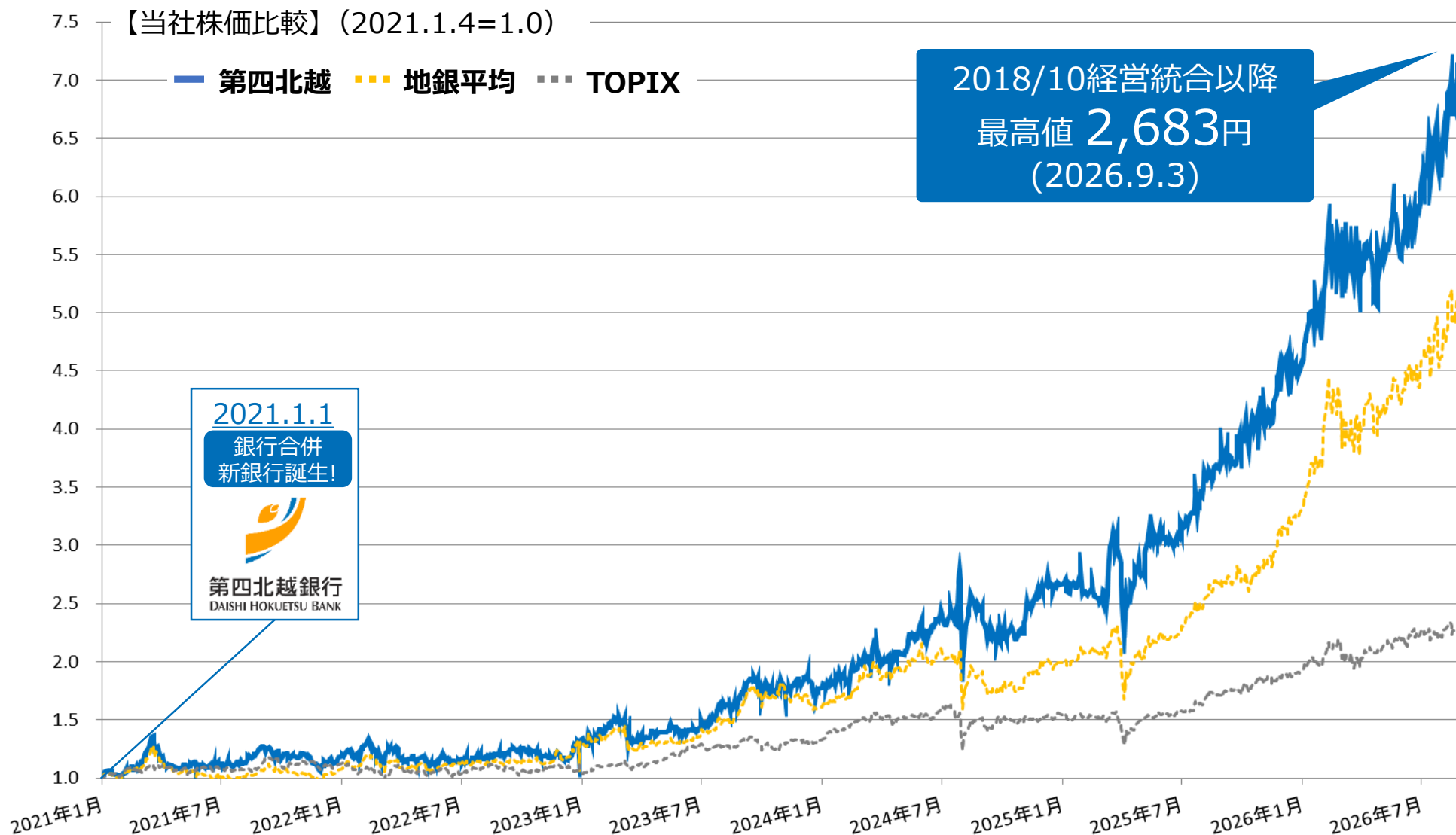
**6,000円相当の
カタログギフト**



▶ カタログギフトには、**地元新潟県**ならではの**食品**や**工芸品**などに加え
TSUBASAアライアンス参加行の地元特産品も掲載

第四北越FGの株価推移

■ 第四北越銀行が誕生した2021年1月以降、株価は地銀平均・TOPIXを上回る水準で推移しております。



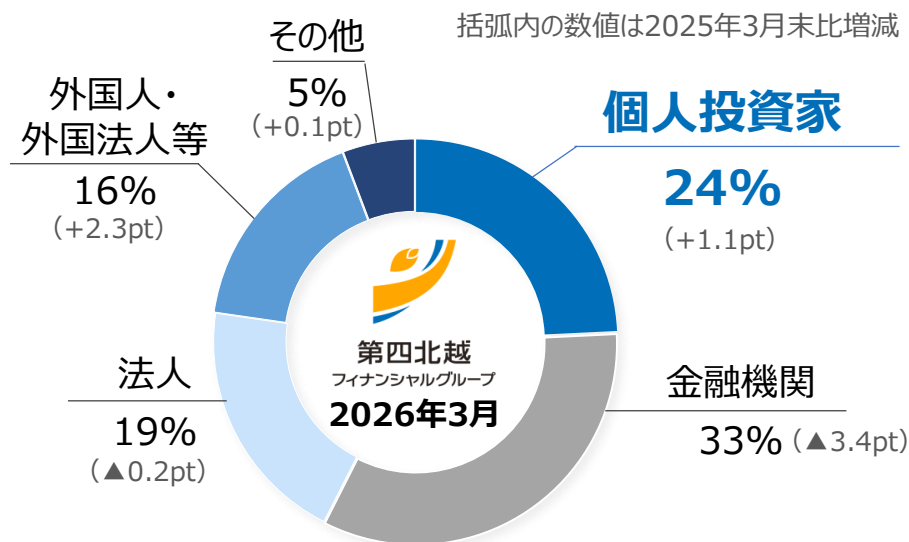
(参考) 株主構成

■ 投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整備し、投資家層の拡大ならびに株主数のさらなる増加を図っていきます。

株主構成

(所有株式数の割合)

■ 2026年3月末株主数
44,493名

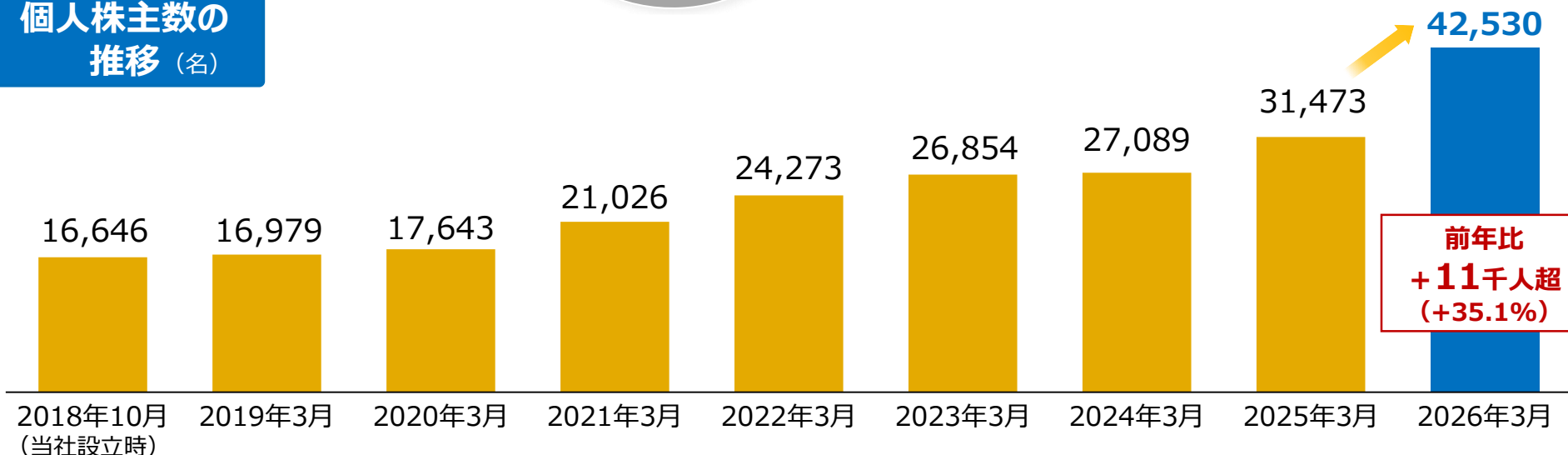


<株式分割の実施>

- 2024年10月：2分割
- 2025年10月：3分割

→ 当社株式の投資単価あたりの金額
(最低投資金額) を引き下げ、
投資家の皆さまがより投資しやすい
環境を整え、投資家層の拡大ならび
に株主数のさらなる増加を図る。

個人株主数の 推移 (名)



計画期間：2024/4～2027/3

第三次中期経営計画

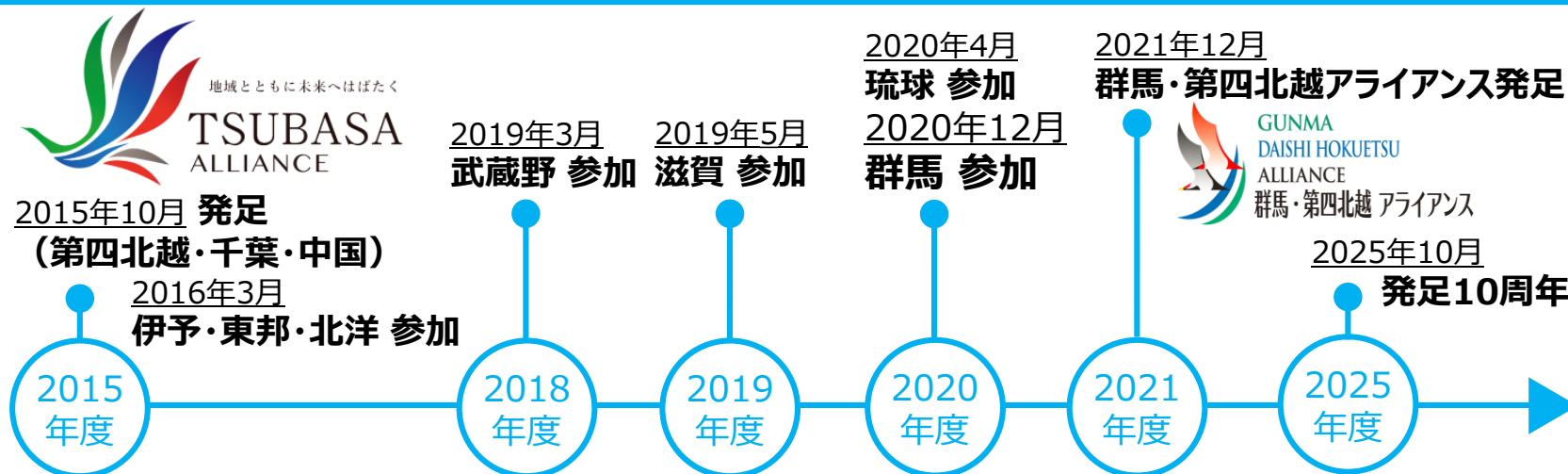
第四北越FGの経営戦略

「経営統合・グループ経営」と「アライアンス」の2つの経営戦略を実践

経営統合 ・ グループ経営

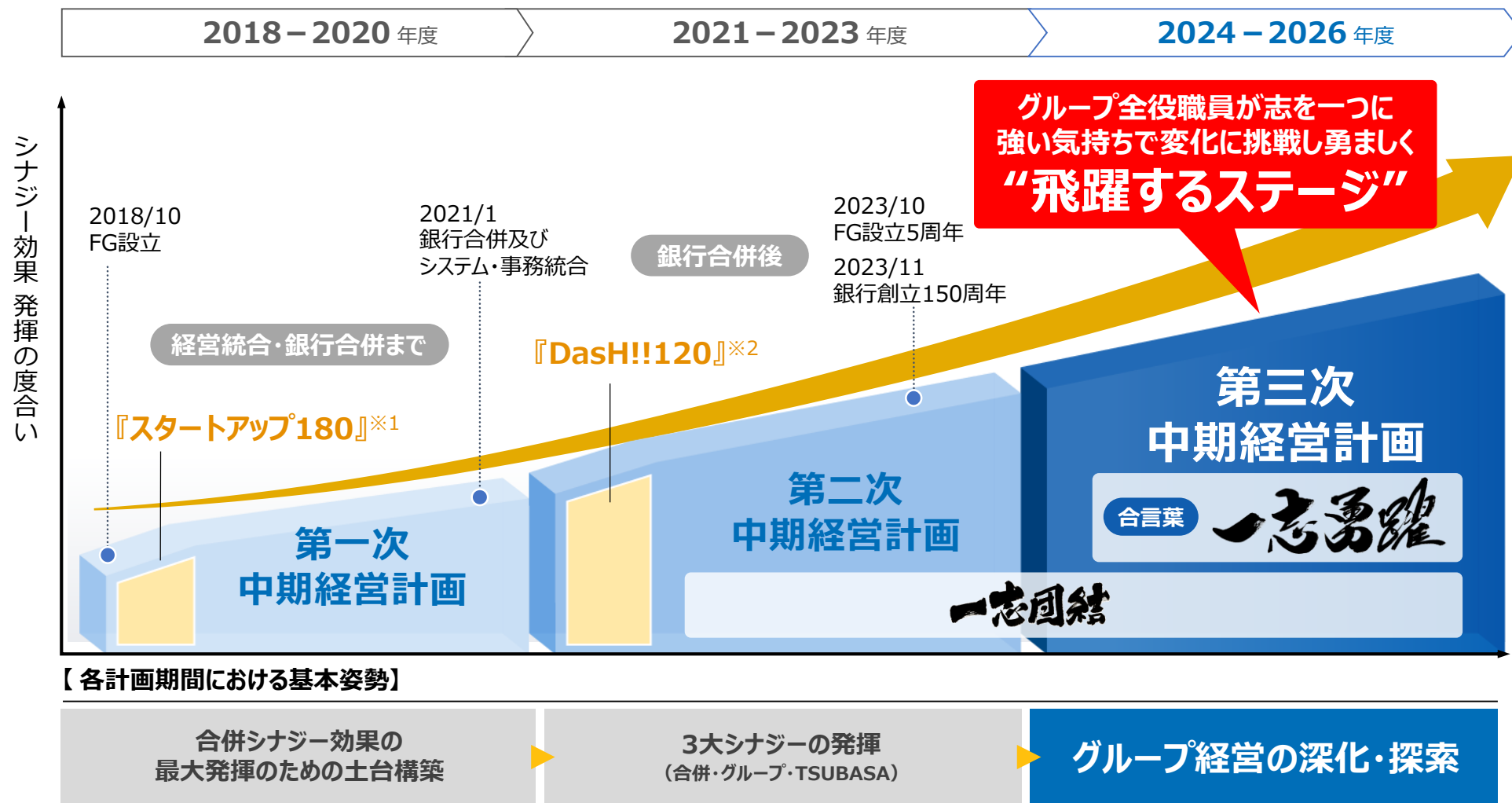


TSUBASA アライアンス 地方銀行 による 広域連携



「第三次中期経営計画」の位置付け

■ “飛躍のステージ”と位置付ける「第三次中期経営計画」



※1：経営統合によるシナジー効果の発揮に向けて諸施策を迅速かつ集中的に実施した期間（180日間）

※2：銀行合併によるシナジー効果の早期発揮に向けた最重要活動期間として諸施策を迅速かつ集中的に実施した期間（120日間）

経営環境を踏まえた最重要経営課題

■ サステナブルな成長の実現に向けて最重要経営課題を解決

- 「環境・社会課題」と「財務的課題」の双方の課題を解決し、地域と当社が持続的に成長する好循環を目指すサステナビリティ経営に取り組みます。

第三次中期経営計画における 最重要経営課題（マテリアリティ）

「財務的課題」



成長性

収益力の強化

効率性

生産性の向上

健全性

健全性の維持・向上

サステナビリティ
経営の深化

「環境・社会課題」



E 地球環境問題への積極的な取り組み

S 地域・お客さまの課題解決を通じた
地域経済・社会の活性化

G 多様性の確保などガバナンスの充実による
ステークホルダーとの信頼関係の強化

取り巻く 経営環境の 変化

- 人口減少・少子高齢化の進行
- DXによる社会・産業構造の変化
- Web・オンライン化・キャッシュレス進展
- 人々の生活様式・消費行動の変化

複雑性・不確実性を増しながら大きく変化

- グローバル化の加速
- 規制緩和
- 異業種による金融業界への参入

- カーボンニュートラル加速化
- サステナビリティ経営の重要性の高まり
- 地政学的リスクのさらなる高まり
- 日米欧金融政策の転換

etc.

基本戦略・重要戦術

■ 第三次中期経営計画の実現に向けた第四北越FGの戦略

- 最重要経営課題（マテリアリティ）の解決に向けて、「4つの基本戦略」と全戦略共通のテーマ「TSUBASAアライアンスの深化」に取り組みます。

“グループ経営の深化・探索”を通じて最重要経営課題（マテリアリティ）を解決



基本戦略 I

グループ総合力の発揮

重要戦術

- ① 地域・お客さまを起点としたグループコンサルティング機能の強化
- ② 地域のサステナビリティに向けた推進強化
- ③ 新たな推進領域の探索
- ④ 有価証券運用の深化



基本戦略 II

生産性向上の追求

重要戦術

- ⑤ あらゆる接点におけるお客さまの体験価値の向上
- ⑥ グループ一体となった業務効率化の実現

基本戦略



基本戦略 III

人的資本価値の向上

重要戦術

- ⑦ グループ総合力を最大化する人財マネジメントの実践
- ⑧ 地域・お客さまの課題を解決する
専門性・多様性ある人財基盤の強化
- ⑨ 働きがいや幸福感を実感できる職場環境の整備



基本戦略 IV

リスクマネジメントの深化

重要戦術

- ⑩ コンプライアンス最優先による業務運営の実践
- ⑪ グループガバナンスの深化
- ⑫ リスク管理態勢の深化

（全戦略共通のテーマ） TSUBASAアライアンスの深化

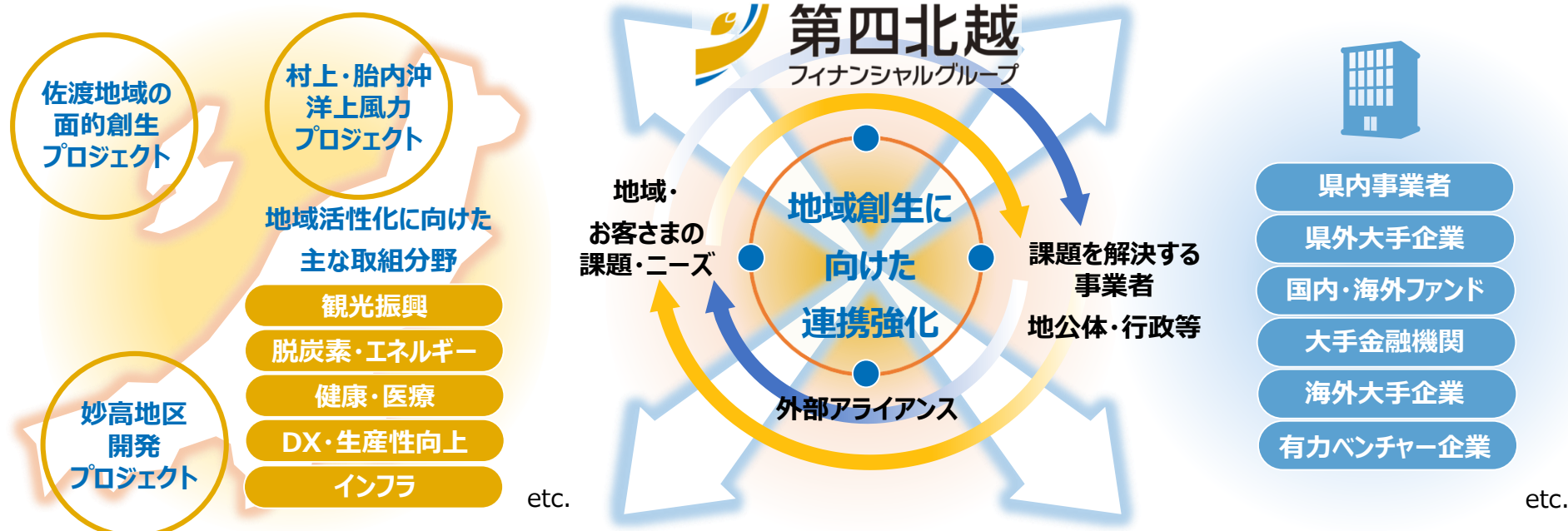


最近の主な取り組み

「関係性ビジネス」の拡大

- 行政、県内外・海外の企業ともタイアップし、**地域の総合プロデューサー**として面的な地域創生を推進してまいります。

地域創生への取り組み



公民連携の新たな取り組み

New!

第四北越銀行 地域・業界の垣根を超えた会議体
“地域プラットフォーム”の新設
(2026年度～)

- 地域課題を解決に向けた案件を「創出・共創」するため、地域・業界の「双方向のディスカッション」を行う会議体を発足
- 自治体、当行、大学、民間企業等が参画

県内各地で行政や関係者との連携を強化

第四北越銀行 営業店表彰に
“地域創生活動”の項目を設定
(2022年度～)

- 第四北越銀行の各営業店では、面的な地域創生の実践に向けて、地域ごとに行政や関係者との連携を強化

地域との共存共栄に向けた態勢強化①

地域創生の戦略拠点“東京ヘッドオフィス”の設置

新拠点の
設置



第四北越銀行

“地域創生に向けたグループ内外連携の新拠点”

■「東京ヘッドオフィス」（東京営業部建物内）の新設

（2025年11月）

- 新潟県内のお客さまと国内外の情報・ネットワークをつなぐ地域創生に向けた戦略拠点

東京ヘッドオフィス人員数

総勢約**80人**

（本部内での兼務者を含む）

※ 2026年3月時点



▲東京都中央区京橋2-4-12
第一生命京橋キノテラス6階

▲東京ヘッドオフィス内の様子

“投資専門会社”による地域創生ファンドの設立

投資専門
会社



第四北越キャピタルパートナーズ

“官民連携ファンド”

■「にいがたサステナブル地域創生投資事業有限責任組合」

（2025年7月）

- 新潟県の課題解決と地域活性化に不可欠な分野への投資を通じて、持続可能な経済成長と地域の面的活性化を支援

New!

→2026/8に医療関係の第1号案件へ投資を実行済



地域との共存共栄に向けた態勢強化②

New!

“地域デザイン会社”の設立



第四北越フィナンシャルグループ

株式会社 REGIONAL SHIFT

設立日	2026年6月18日
本社 所在地	東京都中央区京橋2-4-12 (第四北越銀行東京ヘッドオフィス内)
代表者	代表取締役社長 高橋 伸彰
資本金	90百万円
株主構成	第四北越フィナンシャルグループ 100%
主な 事業内容	● 地域創生に関する事業の企画および運営支援 ● 地域資源を活用した商品・サービスの企画・開発 ● 観光・食・文化・スポーツ等を起点とした地域活性化支援 ● 地域産品の販路開拓・ブランディング支援 ● 自治体・地域事業者などとの連携プロジェクトの推進 等

■ 地域エコシステムを構築し、地域の好循環を実現

- 複合的かつ構造的な地域課題の解決に向け、国内外の多様なステークホルダーと連携し地域創生をより積極的かつ戦略的に推進
- 地域資源の魅力向上、交流・関係人口の創出、さらには地域プロジェクトの事業化支援等を通じた新たな価値を創出する

New!

海外財閥グループの 交響楽団を招聘した “クラシックコンサート”の開催

7/21：東京芸術劇場
7/22：新潟市民芸術文化会館

→来場者数のべ約3,500人
高校・大学（音楽科等）130人を招待

地域創生

次世代
育成

文化芸術
振興

etc.



グループ機能を活用した多面的なご支援①

地域企業の「人材」に関する課題解決支援

人材紹介会社 第四北越キャリアブリッジ

人材マッチング

人材紹介
相談件数
累計**2,812**件
(期間：2019年10月～
2026年3月)

マネジメント層
マッチング件数
52件
2025年度

→ 銀行連携による事業性評価に基づくマネジメント層とのマッチング実績多数

人材育成支援

- 『人財』育成サポートプログラム2026
目的やニーズに応じた多様な研修メニュー

集合研修型
参加者数
累計**1,989**人
2025年度

オーダーメイド型
個別研修開催回数
101回
2025年度

→ 女性活躍推進のご支援として、『次世代女性リーダー育成プログラム2026』も展開中



事業拡大・事業承継等のご支援

地域商社 ブリッジにいがた

- 地域貢献に向け「販路開拓事業」や「観光振興事業」を展開

→ 県内の特産品や農作物ブランディングに向けて、プライベートブランド「美四季（うつくしき）」を立ち上げ（2025年5月）

販路開拓支援先数
842先
(2019/10以降の累計)
※ 2026年3月時点

ファンド運営 第四北越キャピタルパートナーズ

- 第四北越銀行とともに出資した「地域創生ファンド」を運営
(合計：3ファンド、ファンド総額30億円)

無料経営相談会 “にいがたパワーアップサロン”

- 創業・第二創業や事業拡大・販路拡大など経営課題の解決に向けた無料個別経営相談会（2019年度～）

一相談内容の例一

事業計画の策定、販路開拓、脱炭素経営への取り組みなど



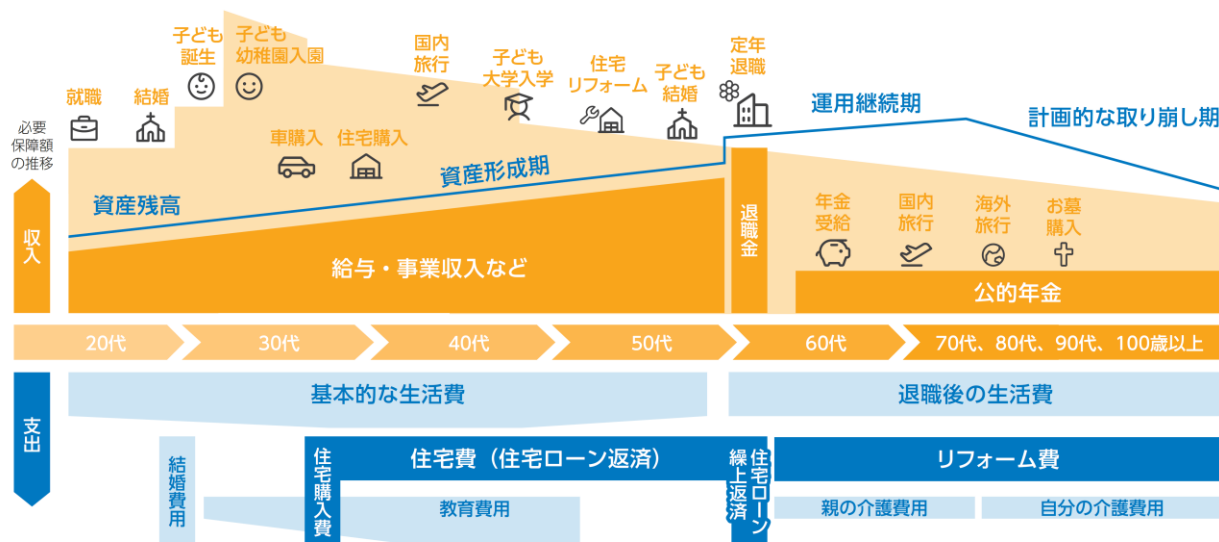
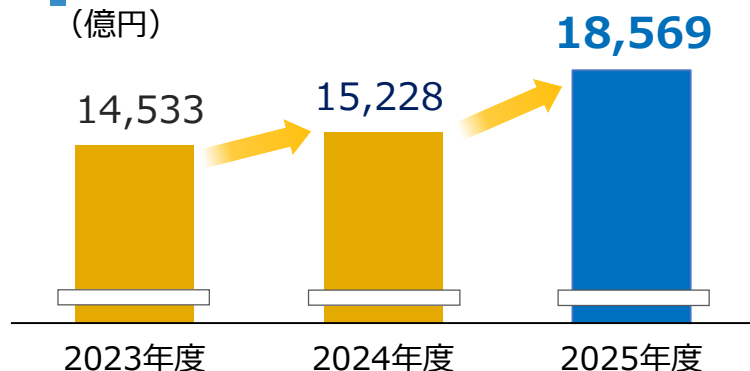
グループ機能を活用した多面的なご支援②

お客様のライフステージに応じた資産運用・承継ニーズへの対応

第四北越銀行 × 第四北越証券

グループ預かり資産残高（末残）

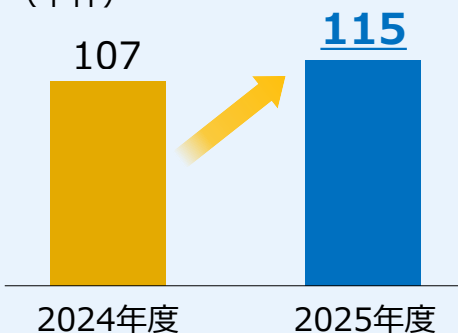
（億円）



第四北越銀行・第四北越証券合算

NISA口座数

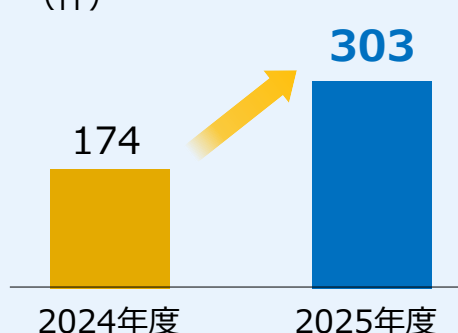
（千件）



第四北越銀行

遺言信託・遺産整理業務件数

（件）



第四北越証券専用 寄付型投資信託

“にいがた未来応援シリーズ”



▲第四北越証券専用ファンド

DXを通じたお客さまの利便性向上に向けた取り組み①

(DX：デジタルトランスフォーメーション)

事業者向けポータルサイト 「CONNECT-BIZ」

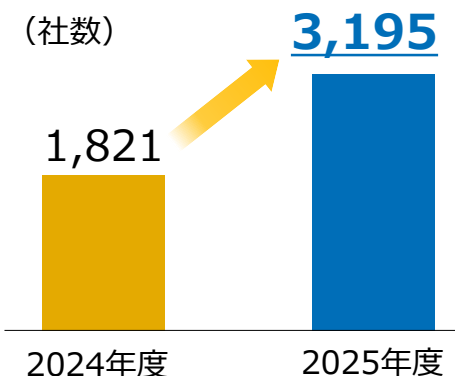
2023年4月
取扱開始

社内の情報共有を強化するための機能や
従業員へ福利厚生をご提供するサービス

— 主な機能 —

- 給与明細電子交付
(2025年2月～)
- 社内掲示板
- グループメッセージ
- 安否確認
- 動画配信
- 資金管理機能 etc.

【利用社数】
(社数)



スマートフォン向けアプリ 「第四北越りとりばんく」

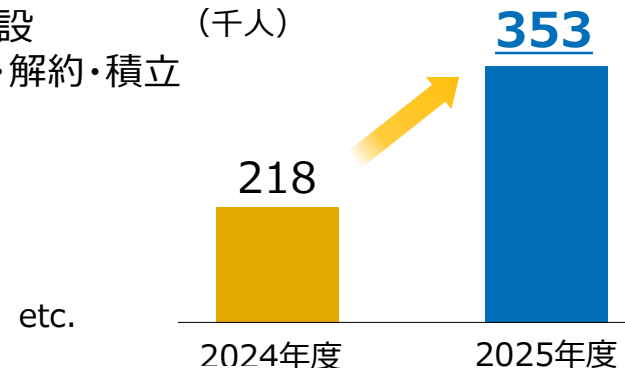
2021年1月
取扱開始

口座残高・入出金明細の確認、振込・税金等の
銀行取引が来店不要で完結するアプリ

— 主な機能 —

- 投信口座開設
- 投信の購入・解約・積立
- 残高照会
- 振込・振替
- 税金支払
- カードローン

【利用者数】
(千人)



第四北越
りとりばんく

New!

2026年3月～
定期預金取引、
ローン取引等を追加

DXを通じたお客さまの利便性向上に向けた取り組み②

お取引先のDXに向けたご支援

■ 給与計算を中心とした「BPOサービス」の試行開始 (2026年4月)

サービス名称	第四北越BPOサービス「給与まるごとアウトソース」
受託者	 第四北越銀行
受託範囲	①給与計算業務 (給与・賞与計算、給与・賞与振込、社会保険料計算、給与明細作成等) ②年末調整業務 (年末調整の内容確認・計算) ③人事・労務業務 (入退社手続き・身上関係変更等)

※BPO：企業の業務プロセスの一部を外部企業へ委託すること

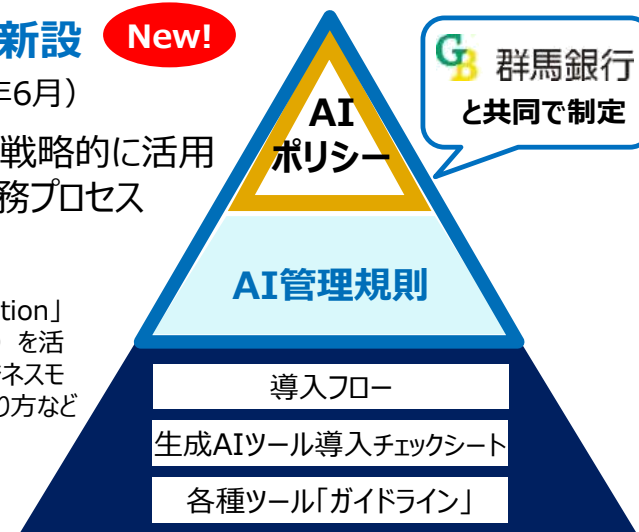
急速に技術が進展する“AI”の活用

第四北越銀行

■ AX戦略部の新設 New! (2026年6月)

- 組織全体でAIを戦略的に活用
→ 顧客起点で業務プロセスを再設計

AX：「AI Transformation」の略称。AI（人工知能）を活用して業務プロセスやビジネスモデルの仕組み、組織のあり方などを根本から変革すること。



● 地元の金融グループだからこそできる“地域密着のDX伴走支援”



- 1 初期相談から対応**
ゼロベースからご相談可能
- 2 構想づくりを支援**
課題整理、計画策定
- 3 実行支援**
案件の着実な進行
- 4 導入後も続く伴走支援**

お取引先の生成AIの導入と活用もご支援

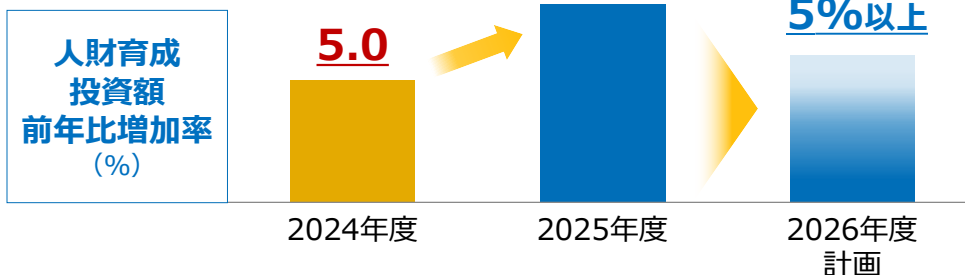


FGの人的資本（＝人財）価値向上への取り組み①

人的資本価値向上に向けた投資

＜人的資本価値向上に資する投資＞
従前からの年5%以上増加方針を明確化
(2024年12月)

第三次中期経営計画



賃上げ・初任給の引き上げ

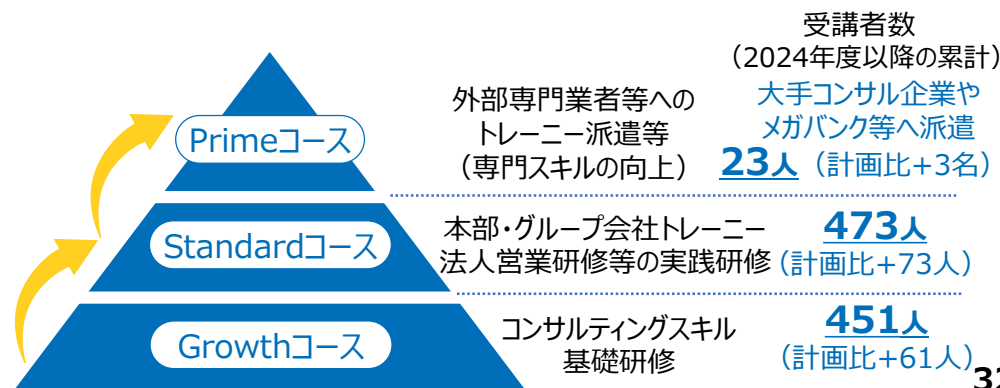
第四北越銀行

- 賃上げ率：平均**7.4%**
(ベースアップや昇給等を含む賃金増額分の実質賃上げ率)
実施日：2026年4月
- 大卒初任給：**280,000円（+30,000円）**
実施予定日：2026年4月1日

4年連続の
賃上げ

専門性の高い人財の育成

資格	FG保有者数 (2026/3末時点)	2025年度 新規取得者数
FP1級	207名	14名
中小企業診断士	52名	3名
TOEIC800点以上	28名	3名
証券アナリスト	49名	3名
情報セキュリティマネジメント	170名	14名
ITコーディネータ	43名	12名
ITパスポート	1,391名	121名
生成AIパスポート	784名	783名
G検定	46名	39名
脱炭素アドバイザーベーシック	1,763名	335名
脱炭素アドバイザーアドバンス	192名	192名



FGの人的資本（＝人財）価値向上への取り組み②

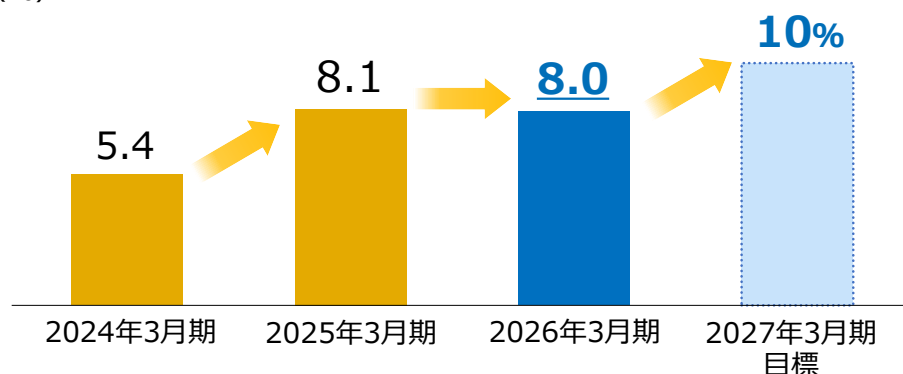
「DE&I※」への取り組みの深化

※ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

第四北越FG

女性部長相当職比率（執行役員・部長・銀行大規模支店長等）

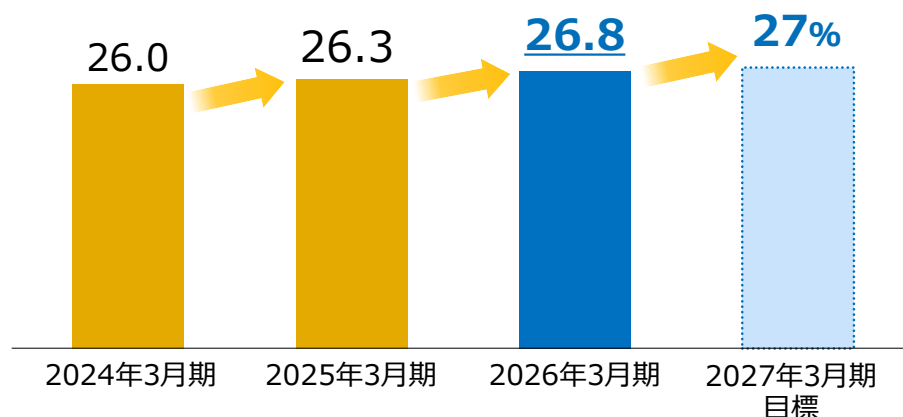
(%)



第四北越銀行

女性管理職比率（代理級以上）

(%)



－女性の経営・管理職の登用状況－（2026年8月時点）

FG



第四北越FG

女性の取締役：2名（社内・社外各1名）

取締役会の女性取締役比率：16.6%

銀行部門



第四北越銀行

女性の取締役：1名（上記FG役員が兼務）

同 執行役員：1名

同 部長：3名（うち2名が上記役員の兼務）

同 支店長：30名

グループ
会社部門



第四北越キャリアブリッジ

女性の代表取締役社長：1名



第四北越証券

同 取締役：1名

第四北越銀行

多様な人財の活躍促進

「キャリア採用比率」

：15.5%（2026年3月期）

「副業兼業制度」利用者数

（2023/3～累計）：60人超

FGの人的資本（＝人財）価値向上への取り組み③

ウェルビーイングを実現する職場環境整備

FG社長による管理職向け説明会

“一志交流会”

39回

延べ約1,900人参加

(2021年度～累計)

FG社長による若手職員向け説明会

“一志交流会 Next”

5回

延べ約210人が参加

(2022年度～累計)

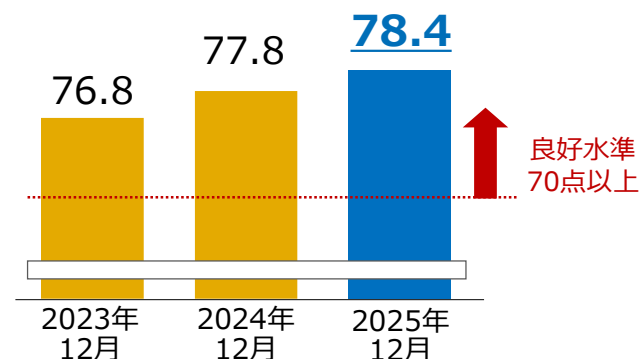


▲“一志交流会Next”の様子

役員との対話交流会（2021年度～）

- 2026年度上期は、群馬銀行との経営統合に関するテーマで開催するなど、様々なテーマに関して、役員とFGグループ全職員とが対話を実施

FG従業員
エンゲージメント
総合スコア
(点)



銀行は9年
連続取得



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500
健康経営優良法人2026
「ホワイト500」認定

当社グループが取得している主な認定制度



プラチナくるみんプラス認定



プラチナえるぼし認定



スポーツ yell カンパニー
2026



「Ni-ful」ゴールド認定※

銀行は最高位
「知事賞」受賞

地銀最大規模の広域連携“TSUBASAアライアンス”の深化



発足から**10年**
(2015/10発足)

地銀最大のアライアンス
更なるシナジーを追求

第四北越銀行
連携施策によるシナジー効果

2015年10月～2026年3月まで

累計**203**億円

2020

琉球・群馬
参加

2021

群馬・第四北越
アライアンス発足
(第四北越・群馬)



2019

武蔵野・滋賀
参加

2016

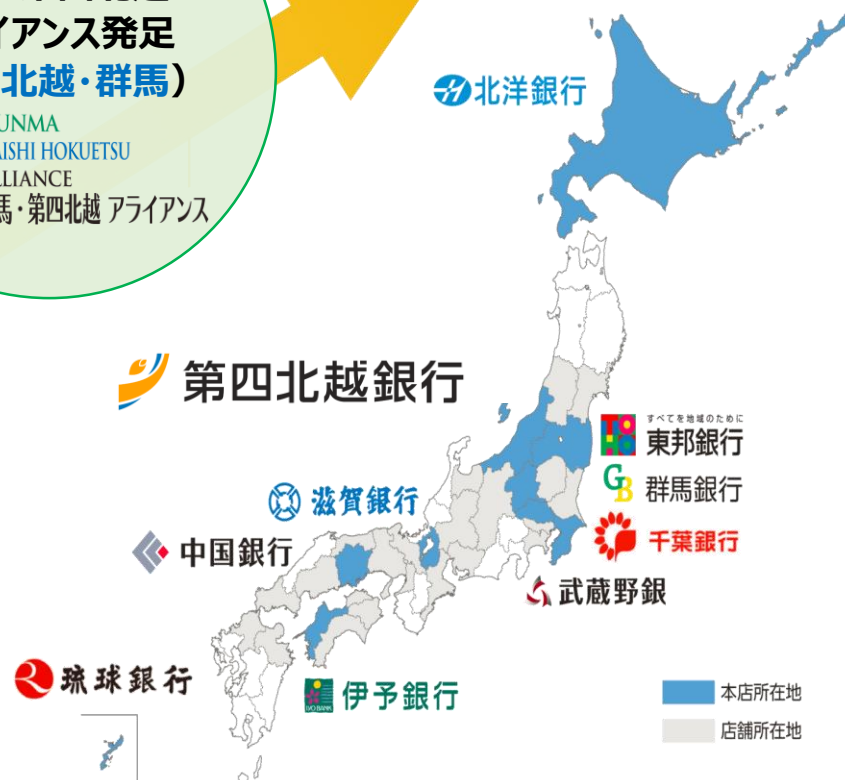
伊予・東邦・北洋
参加

2015

TSUBASA
アライアンス発足
(第四・千葉・中国)



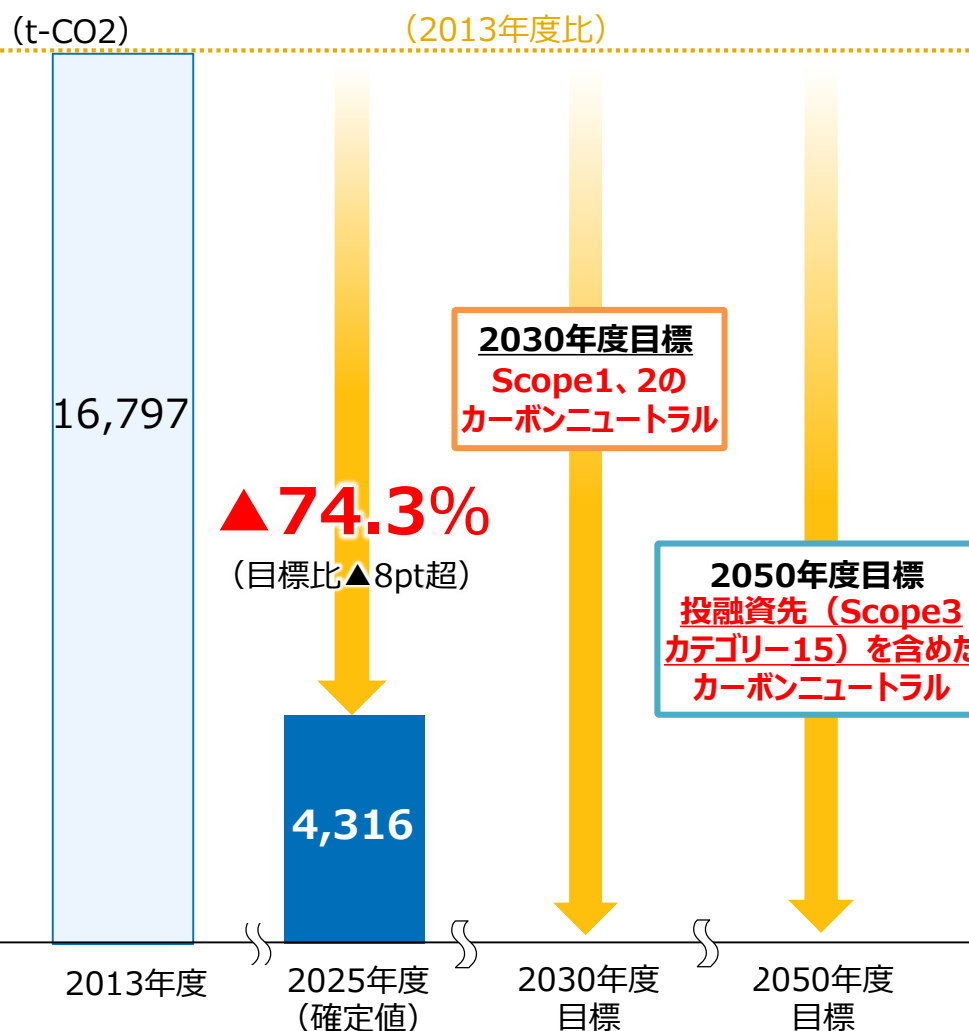
第四北越銀行



地方銀行**最大**の広域アライアンスによる
規模のメリットと**情報連携の優位性**の活用

サステナビリティへの取り組み①

CO₂排出量削減目標・実績



地域の脱炭素に向けた取り組み

ブリッジにいがた

■「環境価値関連商品・サービス」の取り扱い開始

(2026年3月)

- カーボンクレジットの購入ニーズがある県内企業への供給体制を整備
 - 水稻農家によるカーボンクレジットの創出支援の実施
- 地域で創出されたカーボンクレジットの地域内循環の実現へ

第四北越銀行・第四北越証券共同店舗

■「ZEB※」認証の新規取得

→ ZEB認証取得は5店舗目

※Net Zero Energy Buildingの略称。
快適な室内環境を実現しながら、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入により、エネルギー消費量をゼロにすることを目指した建物のこと。



▲新潟県産材を含む木材を積極的に利用した新築店舗「新津支店」

■ GXコンサルティングサービス

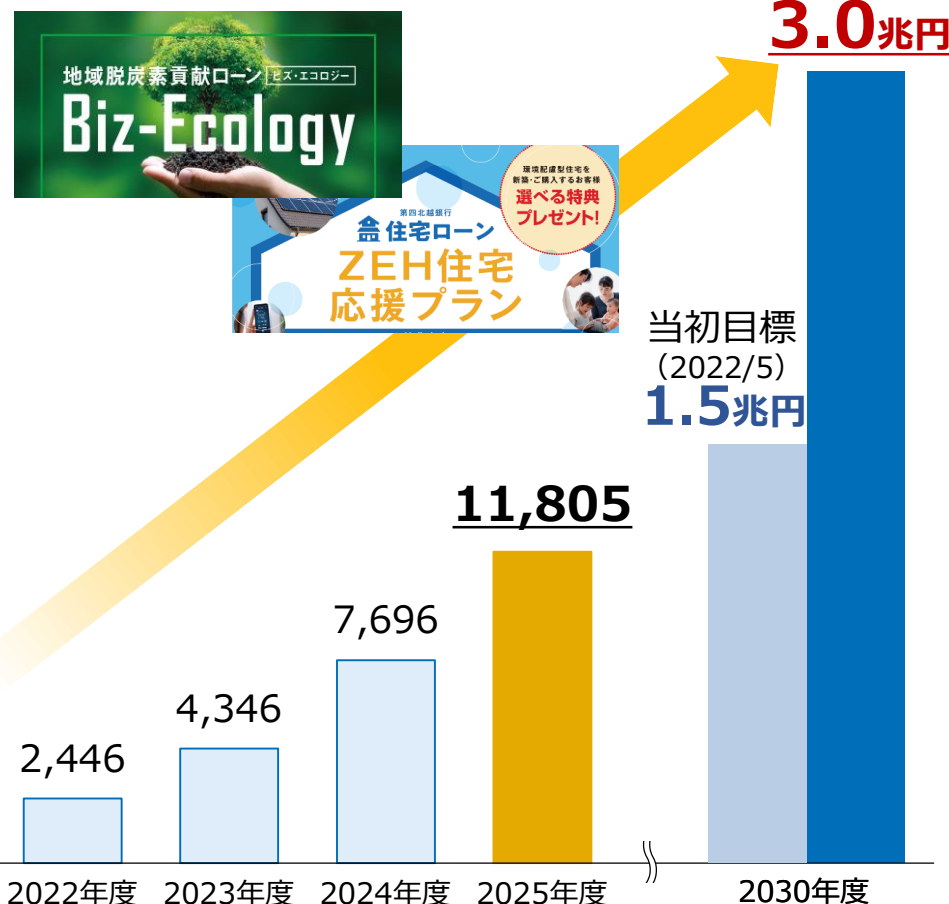
- お客様の脱炭素経営の推進・実現をトータルサポート
- オーダーメイド型のコンサルティングサービスをご提供



サステナビリティへの取り組み②

サステナブルファイナンス累計実行額

多様な商品ラインアップを活用し
環境・社会問題の解決に向けた支援を実施



地域のサステナビリティに向けたご支援

■ 第三者評価書付サステナブルファイナンスの取り組み

- 外部専門機関が第三者評価を付与
- お取引先の取組内容がサステナビリティに資することを客観的に証明し、信頼性と資金調達力を向上させる

2025年度取扱実績

142件

973億円

(前年比+17件、+243億円)

■ 第四北越リサーチ&コンサルティング

■ 「サステナビリティ経営方針策定サービス」の取扱開始 (2026年4月)

- 環境認識に加え、バリューチェーン分析、マテリアリティの特定、マテリアリティに対応したKPIの設定などを通じて、サステナビリティ経営方針の策定を支援
- 企業の特性を踏まえた価値創造プロセスや、サステナビリティ・ビジョンの策定も支援

■ 第四北越リース

■ 「カーボン・オフセット付リース」の取扱開始 (2025年4月)

サステナビリティへの取り組み③

地域社会の発展・支援に向けた取り組み

■ 第四北越FG・群馬銀行による新潟県・群馬県への 共同寄付

(2025年7月)

- 経営統合に向けた基本合意書を締結した群馬銀行とともに、新潟県・群馬県それぞれへ合計3,000万円（各社1,500万円ずつ）を共同で寄付



第四北越FG 新潟県 群馬銀行
殖業社長 花角知事 入澤副頭取



群馬銀行 群馬県 第四北越FG
深井頭取 山本知事 高橋専務

■ 「第四北越まごころの会」によるボランティア活動 (役職員の自主参加募金組織) (1993年～)



▲交通安全標語入り懸垂幕の寄贈
(2026年4月)



▲「佐渡トキ保護」ボランティア
(2025年9月)

金融教育活動

■ 「だいしほくえつアカデミー」の開催

- 地域の未来を担う子供たちの成長を応援することを目的に様々な分野のプロや専門家と接する体験を提供

「だいしほくえつアカデミー」
子どもたちの参加者数
(累計)

17,724人

(期間：2014年3月期～
2026年3月期)



「第四北越奨学会」による奨学金給付

- 学業優秀でありながら経済的理由により大学への就学が困難な若者に対して返済義務のない奨学金を支給中

奨学金支給者数
(累計)

1,336人

(期間：1963年3月期～
2026年3月期)



▲奨学生懇談会の様子

群馬銀行との経営統合に向けて

※群馬銀行と第四北越フィナンシャルグループおよびそれぞれのグループ会社を含めて「両社グループ」、群馬銀行と第四北越フィナンシャルグループを「両社」と記載しています。

「第四北越FGと群馬銀行の経営統合」

本経営統合の基本的な方針



相互信頼・対等統合



経営統合の理念・目的

盤石な顧客基盤と堅調な収益力、強固な財務基盤をもつ両社が
経営統合によりそれぞれの強みを共有・活用

お客さまと地域への貢献に向けた
コンサルティング機能拡充・高度化

スケールメリットを最大限に活用
した持続可能なビジネスモデル

経営資源のポテンシャルを
最大限に発揮させるための
強固なグループ経営管理態勢

経営の規模と質の両面で地方銀行トップクラスにステップアップ°

2027年4月
新金融グループ
誕生



群馬新潟 フィナンシャルグループ

新金融グループの概要と理念

経営統合の概要

商号 株式会社 群馬新潟フィナンシャルグループ
Gunma Niigata Financial Group, Inc. (GNFG)

代表者 (予定) 代表取締役会長 殖栗 道郎
(現 第四北越フィナンシャルグループ 代表取締役社長)

代表取締役社長 (グループCEO) 深井 彰彦
(現 群馬銀行 代表取締役頭取)

本店 東京都千代田区丸の内1丁目8番2号
所在地 (鉄鋼ビルディング)

【コーポレートマーク】



GNFG

群馬の大地をかたどるツルと、新潟の空に舞うトキが、
大空で出会い、新たな旅路へと向かう姿をロゴデザインに。
県の垣根をこえ、地域と未来をつなぎ、
金融の枠を超えた価値を提供していく姿勢を表現しました。



* 両社従業員からの3,400件超のアンケート (新金融グループが「目指すべきこと」や「大切にすべき価値観」) 結果をもとに両社で議論を尽くして決定。

新金融グループの理念

MISSION (存在意義)
ふたつの翼で、地域の未来を創る

VISION (ありたい姿)
信頼を礎に、金融の枠を超え、価値をつなぐ、
リージョナルソリューショングループへ

VALUES (わたしたちの価値観)

四方共益

お客さま・地域、会社、仲間、株主、すべての豊かさの向上を
目指して行動します

誠実

プロフェッショナルとして誠実に取り組み、揺るぎなき信頼を
積み重ねていきます

挑戦

失敗を恐れずに挑戦し続け、地域の未来へ新たな風を
起こします

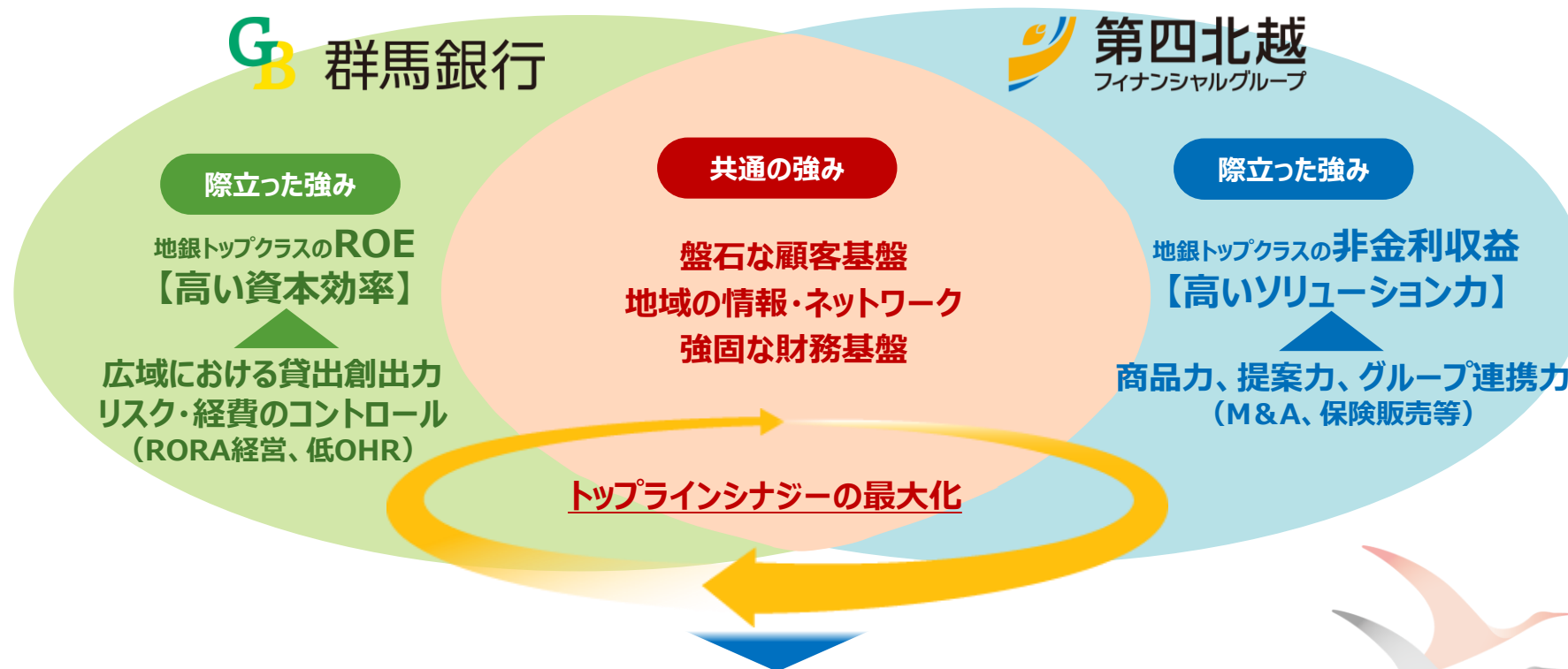
共創

地域を超えてヒト・モノ・コトをつなぎ、ソリューションの力で
新たな価値を生み出します

経営統合の目的

トップラインシナジーの最大化

両社共通の強みをベースに、それぞれの際立った強みを補完することで、
トップラインシナジーの発揮、および経営管理の高度化を図り
経営の規模・質ともに地方銀行トップクラスの金融グループへステップアップ



結果として、お客さま・地域、職員・ビジネスパートナー、株主といった
すべてのステークホルダーの豊かさの向上を目指す



経営統合の概要

株式交換

経営統合前



※ 群馬銀行の普通株式1株に対して、第四北越フィナンシャルグループの普通株式1.125株を割当て交付。

【株式交換の日程】

26年 3月26日	両社取締役会決議 株式交換契約書 及び 経営統合契約書の締結
26年 9月30日 (予定)	両社の臨時株主総会に係る基準日
26年12月23日 (予定)	両社臨時株主総会開催
27年 3月29日 (予定)	群馬銀行株式の最終売買日
27年 3月30日 (予定)	群馬銀行の上場廃止日
27年 4月 1日 (予定)	株式交換の効力発生日

経営統合後



- 群馬銀行と第四北越銀行の合併は予定していない。
- 両行ともに統合持株会社の子会社として現状の営業を継続。また、経営統合を契機とした店舗の統廃合は予定していない。
- 両行の商号やコーポレートマーク、本店所在地等は変更なし。
- 経営統合後はグループストラクチャーの最適化を図り経営の高度化を目指していく。

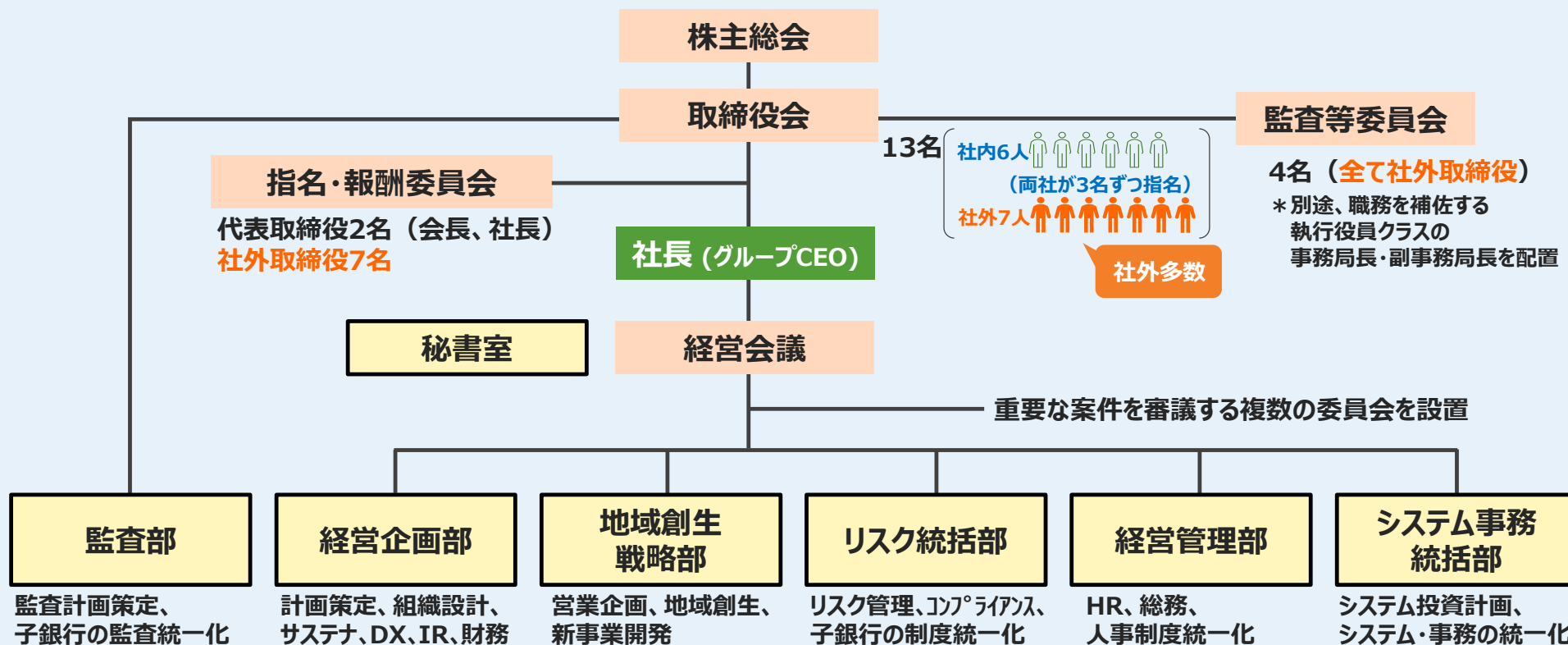
新金融グループのガバナンス・組織体制

ガバナンス・組織体制

相互信頼・対等統合を基本的な方針とし、ガバナンスおよび組織体制の最適化を図り、企業価値の向上に取り組む。

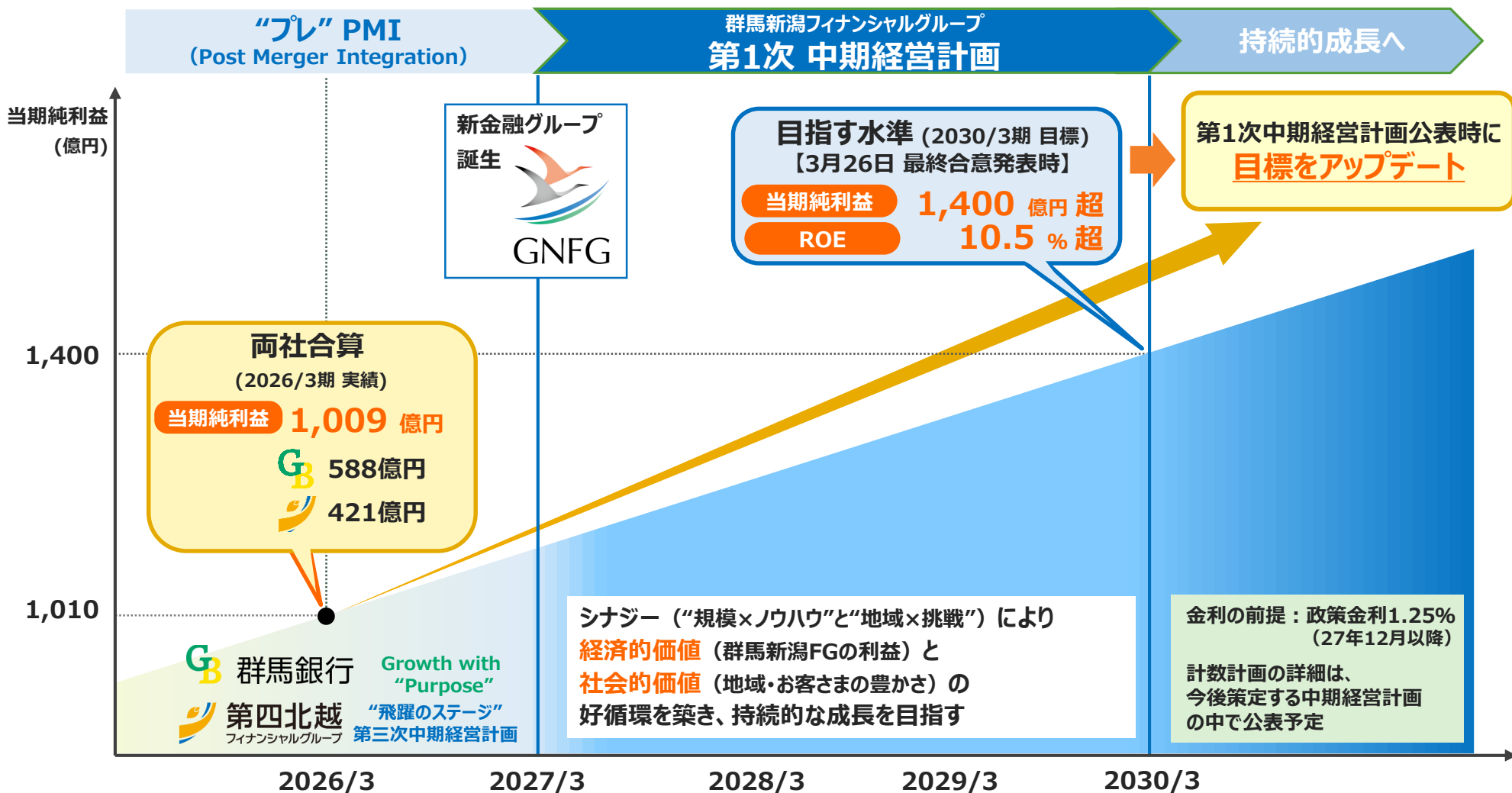
統合持株会社の体制図

統合持株会社の業務をメインで行う人材を100名規模で配置し、グループの経営方針や計画策定、リスク管理等の経営管理を高度化することでグループ全体を主導



新金融グループの計数計画

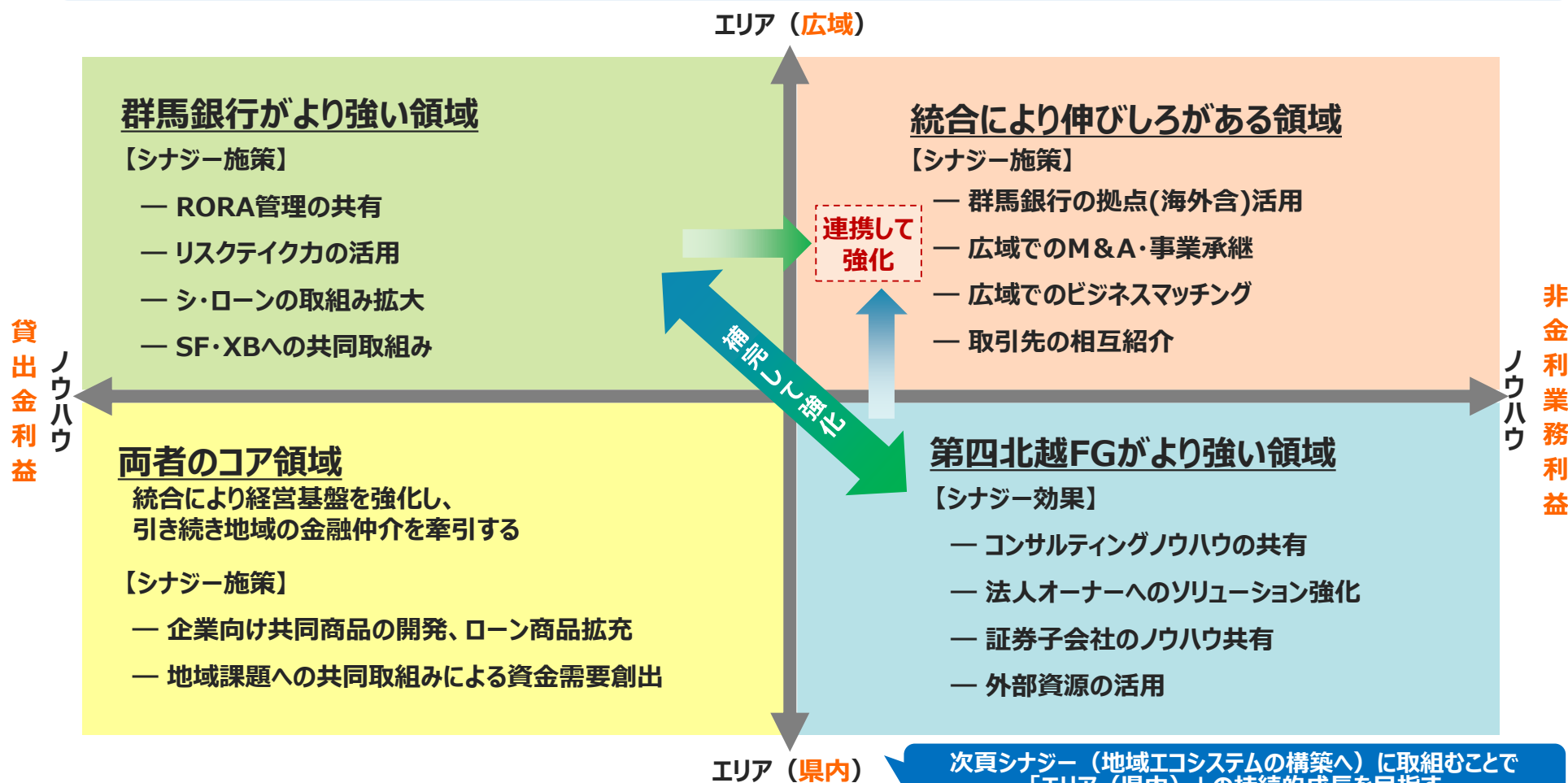
本経営統合の狙いの一つである「トップラインシナジーの最大化」を図り、2030年3月期（統合3年後）の
当期純利益1,400億円超、ROE10.5%超を目指す。



シナジー I (規模 × ノウハウ)

規模 × ノウハウ = シナジー

経営統合による**規模拡大**（営業エリア、総資産、リスクテイク力、人的資本等）と、お互いの強み（**ノウハウ**）を融合し、資金利益・非金利業務利益の拡大（**トップラインシナジー**の発揮）を図る。



シナジーⅡ（地域 × 挑戦）

地域エコシステムの構築へ・・・新金融グループがハブとなり、外部パートナーと連携して地域の好循環を築く



① 地域産業の持続性を高めるエコシステム

- ・事業承継、人材紹介、業界再編
- ・地域ファンドの組成・活用
- ・オープンイノベーション

② 地域の生産性を高めるエコシステム

- ・BPOビジネスの展開
- ・デジタル化支援 ・AI活用
- ・地域金融機関の事務共同化

③ 地域の生活を豊かにするエコシステム

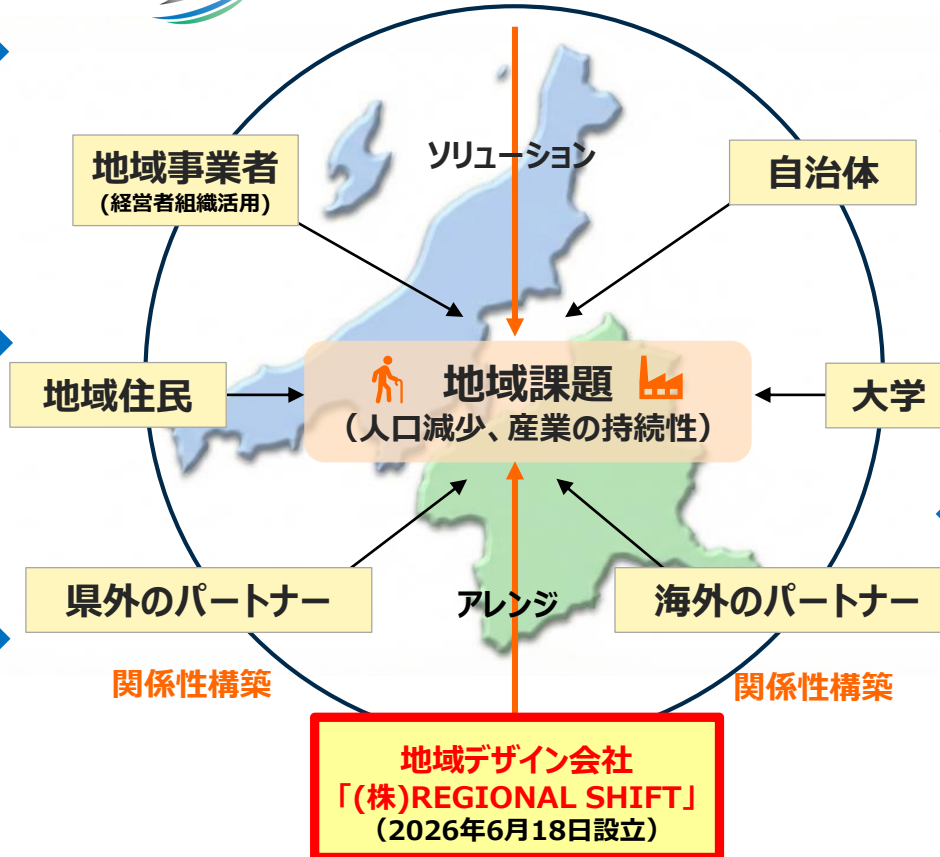
- ・キャッシュレス推進
- ・決済データ活用、地域情報循環
- ・地域商品発信（地域商社機能）

④ 地域のインフラを持続的にするエコシステム

- ・自治体との広域・分野横断的連携
- ・再生可能エネルギー促進
- ・地域医療体制の再構築
- ・観光インフラ（交通、人材、再生等）

⑤ 世界の力を地域に活用するエコシステム

- ・海外人材・ノウハウの活用
→ 地域案件のアレンジ
- ・海外への投融資、海外からの投資
- ・海外進出支援、商流の開拓
- ・海外企業へのアプローチ・誘致



エコシステム構築を加速させる重要な仕組み

【目指す姿】

上流から外部パートナーと連携して地域課題にアプローチ。地域の持続性を高めるとともに、ニーズ・収益機会を創出

(参考) 両社の概要 (2026年3月末時点)

	 群馬銀行	 第四北越 フィナンシャルグループ
本店所在地	群馬県前橋市	新潟県新潟市
設立・創立 (銀行)	設立 1932年9月	創立 1873年11月
総資産 (連結)	10兆8,559億円	10兆8,402億円
預金等残高	8兆7,891億円	8兆7,325億円
貸出金残高	7兆2,261億円	5兆9,150億円
預かり資産残高 (連結)	1兆4,870億円	1兆8,749億円
当期純利益 (連結)	588億円	421億円
時価総額	7,806億円	4,905億円
従業員数 (連結)	2,899人	3,456人
拠点数 (銀行)	国内103拠点 海外4拠点	国内134拠点 海外1拠点
グループ会社	<金融分野> 銀行、証券、リース、 カード、信用保証、 ファンド運営 <非金融分野> コンサルティング・ 地域商社、システム、 輸送・保守	<金融分野> 銀行、証券、リース、 カード、信用保証、 ファンド運営 <非金融分野> コンサルティング・ 調査、システム、 人材紹介、地域商社

新金融グループ (単純合算) 群馬新潟 フィナンシャルグループ

総資産 (連結)	21兆6,962億円
預金等残高	17兆5,216億円
貸出金残高	13兆1,411億円
預かり資産残高 (連結)	3兆3,619億円
当期純利益 (連結)	1,009億円
時価総額	1兆2,711億円
従業員数 (連結)	6,355人
拠点数 (銀行)	国内237拠点 海外5拠点
グループ会社 (事業領域)	11事業

 群馬銀行 群馬県内シェア	預金等シェア	38%
	貸出金シェア	34%
 第四北越銀行 新潟県内シェア	預金等シェア	43%
	貸出金シェア	50%

※2026年3月末時点

※県内シェア：(出所) 金融ジャーナル「金融マップ 2026年版」
(2025年3月末)



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

個人投資家さま向け 会社説明会資料

2026年9月11日

代表取締役社長 殖栗道郎

東京証券取引所
プライム市場

証券コード **7327**

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております